

# 市政報告

発行者：市民クラブ  
小川 敏男  
水田 豊  
土井 基司  
府中市出口町 1076-4  
TEL 41-7894



## 大阪市人権博物館（リバティー大阪）にて

### 3月定例議会で 47議案を審議

3月議会では、2015年度予算・2014年度補正予算、副市長の選任、連携中枢都市圏形成に係る福山との協約締結、職員給与の削減、市議会議員の一時金引上げ、教育委員会制度の改定に伴う「新教育長」の勤務条件、保育所などの利用者負担額や過料に関する条例、医師育成奨学金貸与制度の新設（月額20万円以内）、斎場使用料の値上げ（市内は18000円→20000円）、介護保険料据置き（月額6025円）、消防団員の報酬引上げ（一般団員月額9900円→14000円）など、合計で47議案について審議しました。いずれも賛成多数で可決されました。

### 予算案と斎場使用料 値上げに反対

新年度予算については、前市長から大型建設事業に偏重した予算であること、補正予算については、桜が丘団地造成の借金を市民の負担で返す内容を含むことから、反対しました。今年度は約7600万円ですが、来年度以降は最大で約1億5千万円負担することになります。

斎場使用料値上げについては、老朽化対策を理由に挙げながら、使用料が維持管理や修繕にどのように使われるかの説明が不十分だったため、反対しました。「7億円ダイエットプラン」の一環での提案で、他の経費に回すための値上げではないことを、丁寧に説明する必要があります。

一生に一度の重要な場にかかわることですので、しっかりとした維持管理と計画的な修繕が求められます。可決されましたが、今後、値上げ分が修繕にちゃんと使われているかチェックしていきます。

### 府中の活性化に向けて

2月13日で吉川副市長が辞職したため、広島県から船尾恭司さん（県立広島大学事務局長）を副市長に迎えることになりました。2003年から2年間府中市に勤務されたことがあります。

奨学金は、府中市内に勤務した場合に返還を免除すること、医師不足解消を図る独自対策で、戸成市長の地域医療を守る積極姿勢が反映されています。

福山との連携協約については、府中の独自性を維持し、活性化につながるよう市長がリーダーシップを発揮することを求め、可決しました。

消防団員の報酬については、県内他市と比べて極端に低かったため、市民クラブは議会ごとに引上げを求めてきたところです。安心、安全なまちづくりに消防団員の存在は欠かせません。報酬引上げが団員の士気向上や入団者の増加につながることを期待します。

# 北市民病院の縮小に歯止めを！ 上下地域に安心の医療体制と医師不足の解消を！

## 療養病床の廃止で

### 早期退院が続出

府中北市民病院の現状は、2012年4月の独法化によってそれまでの常勤医師数が5名から4名へ、外科医が府中市民病院に異動になり、一般外科手術ができないう、マムシにかまれても診てもらえない病院となっていました。

外科医は昨年4月から北市民病院に日勤するようになり、マムシの件は解消されましたが、常勤ではないため一般の外科手術はできないままとなっています。病床数は許可病床110床から70床へ、さらに昨年7月1日からは療養病床が廃止され、一般病床60床のみとなりました。入院しても十分なりハビリを受けるとなく早期退院をせざるえなくなっています。

現在は常勤医師数3名で、

2015年度からはさらに減少になるのではないかと心配されています。

## 北部地区町内会（上下町）も行政支援を要望

上下地区の町内会長の連合会である北部地区町内会が「過疎地域の拠点病院である府中北市民病院の行政支援について」要望し、地域医療を守る会も市長あてに、「府中北市民病院の機能回復維持（85床、常勤医師数6名以上、療養病床の回復）、府中市との協議と合意の実現を内容とする要望書を提出しています。

## 今後策定される「地域医療ビジョン」に位置づけを！

現在、地域医療ビジョンが国の政策として進行中です。広島県では、平成27年

度に策定することになっていきます。この県の地域医療ビジョンの中に府中北市民病院を急性期の拠点病院として位置づけることが大切です。これが認められれば、現時点で95名の学生が在籍している広島大学医学部

らと卒の医師が3年後から中山間地域の公的病院に派遣されるため、深刻な医師不足が解消されます。

## 医師不足解消の処方箋

これは上下の北市民病院だけでなく地方独立行政法人府中市病院機構にとつても医師不足解消につながる

2015.4~2018.3

## 介護保険第6期（3年間）スタート

### 保険料は据え置き6025円

介護保険法の改正により、要支援者に対する介護予防給付が、市町村に移管されます。要支援1・2の保険給付が切り捨てられるのではないかと心配されている問題です。

## 要支援事業のうち

### 身体介護は継続 生活援助は見直し

今までと変わらないと市

は説明していますが、実際は、リハビリなど身体的な機能訓練が必要な事業は今まで通り市として実施する

が、生活支援の場合には介護保険を使わなくても良いものは使わず、代替処置を考えるとしています。

今後1年の間に、そうした措置を準備することになります。

介護保険法で設置が義務付けられている地域包括支援センターや社会福祉協議会の役割が予防介護事業の主体としてますます重要になってきます。

絶好の機会です。自治体病院として存続することで安心安全に住める地域として保障されるので、若い人達が入る、ターナーで、府中市の地域創成・再生にも直結します。

府中市独自の奨学金制度と合わせ、医師不足解消のための有効な処方箋だと考えます。



## 無念な2015年度予算

府中市の予算は180億円規模が妥当と言われ、てきましたが新年度は230億円と突出した予算となつていきます。その原因は市民病院の建替えで29億円、道の駅建設などで9億

円のためです。戸成市長は「率直に言つて病院建設はすでに決まっていたので私が入る余地はなかった」と、せめて200億円位の予算をめざしたかったと無念な気持ちを述べています。1月9日にオープンし

た府中市地域交流センターは78・5坪、事業費は1億3611万円なので工事費は坪173万円になっています。市民感覚からしてもあまりにも高すぎます。今後はこういう例からも政策の大幅な見直しが必要

要です。道の駅については、上下方面からのバスの終点が目崎車庫となつているのを道の駅を終点にしてバスターミナル化するなど、厳しい財政に合わせ、事業を再検討しなければなりません。

市民一人当たりの借金額を2004年度と2015年度で比較すると一般会計は47万円から63万円に増え、公共下水道など特別会計を含めると91万円から99万円となつていきます。

## 投資型予算の修正を!!

戸成市長は、身の丈に合った市政の実現、子育て支援を中心に住みたくなる街にするとの考えを表明してきた。しかし、新年度予算は、伊藤前市長の投資中心路線が修正されず、戸成色が出た予算となつていない。

伊藤前市長の財政運営の基本は、人件費と福祉を削つて大型の箱モノの投資に回すというものだった。福祉タクシークットを約200万円減らし、母子寡婦福祉連合会への3万

円、原爆被害者の会活動への8万円、府中市保育連盟への5万円の補助金を主廃。その他の補助金も減額されているものが多い。1件1件の額は小さいが民生費を削つて投資にまわす方針が如実に表れている。こうした財政運営が12年間も続いた結果、

### ○ 視点 ○

「伊藤市長は大きな箱モノばかりつくつて町内会の要望を聞いてくれない」と市民が感じるのも当然であろう。前市長のように大型の箱モノへの投資を続けていけば、いずれそのツケは市民にまわつてくるとわたしたち

は主張してきたが、残念ながらそのとおりになつてきている。7億円ダイエツトプラン。命名からしてごまかしである。ダイエツトとは余分な体重をおとすことだが、府中市の財政に余裕はないのだからダイエツトではない。市民にとつてみれば7億円増税プランに他ならない。そしてなぜ増税しなければならぬのか、それは借金を返さなくてはいけないからである。病院建替工事は材料費の高騰を理由に増額した。

設計を見直し予算内に抑えれば、3億円近くの借金が減る。他にも高いと指摘されている地域交流センター建設費や丸なげの各種委託料、特定の業者に偏つていた設計料の問題など見直すべき点は多数ある。それがダイエツトである。こうした無駄な投資予算を削つていかなければ、戸成色のでる予算編成は不可能だ。市長自身がしっかり査定をして、膨れ気味の投資予算を抑えて、市民に寄り添う予算編成に転換してゆく必要がある。就任2年目を迎える戸成市長に、投資型予算の見直しを要望したい。

市民一人当たりの借金額(単位:千円)

地方債残高	2004(H16)	市民一人	2015(H27)	市民一人
(一般会計)	22,393,297	472	26,438,000	634
(特別会計)	38,307,206		40,133,000	
(開発公社と桜が丘)	5,133,856		1,194,000	
合計	43,441,062	915	41,327,000	991
人口	47,477人		41,721人	

## 翁座を国登録 有形文化財に

「魅力ある観光地づくり」として大正時代の芝居小屋翁座の修繕や、商店街の空き店舗の白壁の補修などに500万円の予算が組まれています。

昨年11月に市民クラブで熊本県の山鹿市に視察で行った際、八千代座を紹介され見学したところ、八千代座



八千代座にて（熊本県山鹿市）

観光客に芝居小屋の様々な仕掛けを見ていただいたらいいのではないだろうか。宝の持ち腐れになっているのではないか。国登録有形文化財の指定を受けて、恋しき活性化事業と同じく2000万円程度の補助金を出すようにすべきではないか」と質問しましたが、はっきりとした答弁はありませんでした。

## 教育委員会制度 が変わる

大津市いじめ自殺事件での教育委員会の対応の拙さに対する批判をきっかけに、教育委員会を廃止して、市長などの首長が教育行政に直接関与できるようにするべきだという声が自民党を中心に高まりました。そのため、教育関係部署を市長などの直属にする改革案が示されました。

それに対して、市長などが政治的な介入を行って、教育の中立性が脅かされるという反対意見も、文部科学省や教育関係者などを中心に根強くあり、両者の意見を調整して、新しい教育委員会の制度がつけられました。

新制度では、教育委員会の代表である「教育委員長」と事務局のトップである旧「教育長」（教育委員を兼ねる）を統合して権限を強化した新たな「教育長」を置き、教育委員会の意思決定を一元化しました。

また、首長、教育長、教育

委員で構成される「総合教育会議」を設置して、そこで教育の振興に関する「大綱」を策定することで、市長などが教育行政に関与できるように変わりましたが、直接教育に関わる事項への介入は禁じられています。

教育委員会が合議制で運営されることに変わりなく、教育長へのチェック機能も強化され、教育委員の重要性は高まっています。保護者代表が教育委員として加わる点にも変更はなく、住民参画も考慮されています。

制度改革に伴って、教育長が市役所職員と同等の「一般職」から、市長などと同等の「特別職」に変わるため、関係条例の改正が行なわれます。府中市では、10月から新教育長へ移行する予定です。

市長が不当に教育に介入し、教育の中立性が侵されないように、これからは今まで以上に、議会としてチェックし続けていかなければなりません。

## 財政危機で 職員給与削減

人事院勧告の「給与の総合的見直し」に沿って職員の賃金が平均2%引き下げられました。しかも一律に引き下げるのではなく50歳台の職員は最大4%の引き下げとなっています。

また、伊藤前市長の考えで県内では府中市だけが行なっていないが、国が求めた職員の給与削減を、戸成市長は選挙公約と言った理由で労働組合に申し入れ、労働組合は市の財政危機に協力するという内容で受け入れています。その内容は、職員平均3.0%、副市長8%、教育長7%を引き下げるものです。

同様に、議会にも戸成市長から協力の要請があり、小野議長が各党派に対して、協議を求めています。私たち市民クラブは、「すでに昨年解決済みであり、納得できないが、職員が協力していることから受け入れる」と回答しているところです。